

令和4年

第6回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

令和4年第6回仙北市議会定例会 市政報告

令和4年第6回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、8月3日から16日にかけての断続的な大雨による被害状況等についてです。

大雨により全国各地で、土砂災害や河川の氾濫など大きな被害がありました。被災された全ての皆様に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く日常生活を取り戻すことができるよう心からご祈念申し上げます。

仙北市では、8月13日に西長野地区を流れる入見内川が、田中観測所で避難判断水位に達したことから、同日午前7時30分に西長野地区へ避難指示を発令し、角館庁舎と西長野交流センターに避難所を開設しました。その後、雨が弱まり避難判断水位を下回ったため、同日午後2時に避難指示を解除しました。

さらに、15日にも大雨により、同じく入見内川が避難判断水位に達したことから同日午後7時に西長野地区へ避難指示を発令し、西長野交流センターに避難所を開設しました。同日午後10時には避難判断水位を下回り、避難指示を解除しています。

この大雨による人的被害や家屋などの浸水被害はありませんでした。仙北市消防団の皆様には、パトロール、土のう積みなどの被害拡大防止、女性消防団員の皆様には避難所開設等にご協力いただきました。心から感謝を申し上げます。

道路や農林業関係では大きな被害が確認され、落雷による停電等の被害もありました。土砂崩れ等により、国道105号の西木町上桧木内と北秋田市阿仁の間で、また国道341号の玉川地内で一時通行止めとなりました。現在、国道105号の上桧木内地内の土砂崩れ箇所には、仮設迂回路が設置され対面通行は可能となっています。市道の被害は確認されていません。

また、秋田内陸縦貫鉄道関係では、北秋田市の米内沢駅と前田南駅の間で複数の大きな被害が確認され、鷹巣駅と阿仁合駅の間でバスの代行運転を行っていて、復旧には少なくとも3か月程度を要する見込みです。

農業関係では、農地への冠水及び土砂堆積が約5.5ヘクタールで、被害額約72万6千円、農業施設では、頭首工の河床低下による取水不能が1箇所、農道の流出が10mで被害額約120万円と見込んでいます。林業関係では、林道11路線で路面洗掘、倒木、落石等の被害があり、被害額約280万円を見込んでいます。内水面漁業関係では、濁水の流入によりニジマス(150キログラム)やヤマメの稚魚(18キログラム)が死滅し、約18万9千円の被害が確認されています。

また、落雷により、角館樺細工伝承館等の施設が一時停電となる被害がありました。田沢湖病院では、落雷が原因で電話設備とナースコールが故障しました。当日のうちに応急対応を行って診療への影響はありませんでしたが、一部機能については復旧に向けて作業中です。

これらの被災に対しては、国や県の協力を得ながら早期復旧に向けて作業を進めています。議員の皆様のお力添えを、よろしく願います。

次に、新型コロナウイルス感染状況についてです。

8月に入り県内は感染者が急増し、「感染拡大警報」や「BA・5対策強化宣言」が発令されています。仙北市では8月1日から30日までの一日の平均感染者数が27.2人となっていて、一日80人を超える日もある状況です。

これから角館祭りのやま行事や田沢湖マラソンをはじめ、様々な行事やイベントが続きますが、市民の皆様には、これまで以上に警戒感を強め、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

次に、新型コロナウイルスのワクチン接種についてです。

現在、3回目、4回目接種を進めていますが、8月8日に開催された

国の第34回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、オミクロン株対応ワクチン接種について議論され、オミクロン株と従来株に対応した2価ワクチンが薬事上の承認がなされれば、10月半ば以降に実施することが考えられる旨の連絡がありました。

その後、国が前倒しを目指し調整しているとの報道がありました。引き続き動向を注視し、今後の接種に万全を期して準備を進めていきます。

次に、今年度から取り組んでいる行財政改革の進捗についてご報告します。先般、市民3千人を対象に幸福度に係る市民意識調査を行い、1千274人から回答をいただきました。現在、集計及び分析中です。分析結果を基にし、次年度以降の行財政の方針に関する意思決定等のあり方を検討する予定です。

次に、一般会計補正予算(第6号)についてです。

第6号の補正額は4億1,501万円の追加で、補正後の額は213億579万4千円です。主な事業は、本庁舎等維持管理費、公共施設自動水栓化事業費、マイナポイント事業費、地域公共交通対策費、マイナンバーカード申請支援業務委託事業費、園芸用燃油高騰緊急支援事業費補助金、冬期交通対策費、学校保健特別対策事業費、小学校手洗自動水栓化事業費、中学校手洗自動水栓化事業費、社会教育施設手洗自動水栓化事業費などです。地方債補正は変更です。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇仙北市第三セクター「おもてなしせんぼく」について

これまで市の主導により進めてきました、株式会社アロマ田沢湖、株式会社花葉館、株式会社西宮家、株式会社西木村総合公社の経営統合について、本日付で「株式会社おもてなしせんぼく」を設立し新た

な体制による運営が開始されています。代表取締役は相原智仁^{あいはらともひと}、本店所在地は仙北市角館町西長野古米沢^{こごめざわ}30番地19、資本金は5千万円となります。

◇角館オンデマンド交通「よぶのる角館」について

5月17日から毎日運行している「よぶのる角館」について、8月18日現在の延べ利用者は1千531人で、乗降ポイントの第1位は角館駅、第2位は小野崎家となっていて、そのほかスーパーや病院への市民利用も多くあります。

利用者を対象としたヒアリング調査を行ったところ、観光客から1回300円での安価な移動手段に高い評価をいただいています。さらなるサービス向上による利用者増加を目的に、よぶのる角館、JR、市民バス、内陸線の情報をリアルタイムで表示するデジタルサイネージを設置し、市外からの観光客、市民にとって、市内公共交通がより使いやすくなることを想定して、設置に係る予算を本定例会に提案しています。よろしくご審議のほどお願いいたします。

◇クニマス未来館特別企画展、体験学習会について

8月1日から31日まで「やってみよう夏休みの自由研究」と題して、県内の博士号教諭6人のパネル展を開催しました。

また、8月2日、9日の両日、「体験学習会～今の田沢湖の水と魚を知る～」を開催しました。小中学生、保護者14人が参加し、ウグイ釣り体験や水質調査及び、その調査結果の発表など、クニマスの里帰りに向けていま私たちができることを学びました。

田沢湖の水質改善への道のりは厳しいものでありますが、今後も、未来を担う子どもたちへ環境の大切さや田沢湖再生への想いを伝えるとともに、クニマス未来館の存在意義を市内外に積極的に発信していきます。

【市民福祉部】

◇マイナンバーカードの交付状況について

国ではマイナンバーカードの普及に向けた取組を進めていて、8月14日現在の仙北市のマイナンバーカードの交付率は、36.6%となっています。

マイナンバーカードを取得した方は、身分証明書としての利用のほか、住民票・戸籍証明書等のコンビニ交付、オンラインでの行政手続き、健康保険証としての利用などができ、国では令和4年度中にほとんどの国民がカードを取得することを目指しています。

マイナンバーカードの申請は、地方公共団体情報システム機構から送付された申請書を利用するほか、携帯電話やパソコンからオンライン申請することができます。今後は、日本郵便株式会社との包括連携に関する協定に基づき、郵便局での申請手続きを可能にし、市民が申請しやすい環境づくりを進めます。関係予算を本定例会に提案していますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

◇令和4年度住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業について

7月25日付で対象となった406世帯に通知書を送付し、8月26日時点での申請件数は343件で、全て振込済みとなっています。

今後も未申請世帯や家計急変世帯からの申請を受け付けるとともに、審査、支払い事務を迅速に行っていきます。

◇令和4年度子育て世帯生活支援特別給付金給付事業について

「ひとり親世帯」については、申請不要のプッシュ型支給分268人分と家計急変世帯などの申請があった6人分、「ひとり親世帯以外」については、プッシュ型支給分114人分と家計急変世帯、高校生のみの非課税世帯などの申請があった7人分をそれぞれ8月16日までに支給しています。今後も審査、支払い事務を迅速に進めていきます。

【観光文化スポーツ部】

◇ささら舞・ささら観光行事2022について

8月15日、角館の立町ポケットパークを会場に、「白岩ささら」を迎えて3年ぶりの開催を予定していた角館の観光行事実行委員会主催の「ささら舞・ささら観光行事2022」は、午後からの大雨のため、中止となりました。

なお、同日午前には雲巖寺のほか白岩地域で行われた、「白岩若者会」によるささら舞は、無事に開催されたと伺っています。

◇角館祭りのやま行事について

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年・3年度は実施を見送った角館祭りのやま行事の曳山運行、舞台の設置、町内の交通規制などに関し、令和4年度については、「曳山責任者会議」が策定した「曳山制作作業・曳山運行における新型コロナウイルス感染症の感染防止策及び熱中症への対策のガイドライン」を、8月22日に開催した「角館祭りのやま行事実行委員会」にて内容を確認し、同時に実行委員会としても「角館のお祭り・新型コロナウイルス感染防止・熱中症防止・仮設店舗営業に関するガイドライン」を決定しました。

今年のお祭りを可能な限り例年に近い形で行うために、お祭りに関わる方々が一般的な感染対策に加え、これらガイドラインをしっかりと遵守し、感染対策をはじめとする安全対策を十分にとることを関係者をお願いしています。

◇家族留学及び子ども演劇体験講座の実施について

8月4日から4日間、秋田県の教育や仙北市の暮らしを体験する「家族留学」が実施されました。この事業は仙北市と市農山村体験推進協議会が県教育委員会の協力を得て企画したもので、県外の小学生とその家族が農家民宿などに宿泊しながら、秋田県の教育の基礎となっている「探究型学習」や、仙北市の観光、文化や自然、農山村の暮らしを体験しました。

また、4日間を通して実施されたわらび座の指導による演劇体験では、「子ども演劇体験講座」に参加の市内小中高生7人とともに、精一杯自分を表現する活動に取り組み、交流を深めました。

今回は首都圏のほか、大阪や和歌山、長崎から8家族18人の参加があり、参加者からは、「また何らかの形で仙北市と関わりたい」という感想をいただいています。今後も感染対策をしっかりと行いながら関係人口の創出に取り組んでいきます。

【農林商工部】

◇第12回全国和牛能力共進会の出品について

10月6日から10日にかけて、鹿児島県霧島市及び南九州市を会場に全国和牛能力共進会が開催されます。仙北市から種牛しゅぎゅうの部第6区（総合評価群区）に角館町そうまいざおの相馬 勲さんの「こまくさ103号」、また西木町の田口とみ子さんの「はるにしき464号」が秋田県代表として出品されることになりました。

本大会は、5年に1度開催される「和牛のオリンピック」とも言われる権威ある全国大会で、秋田県最終予選を勝ち残った14頭しゅぎゅう（種牛の部7頭、肉牛の部7頭）に選ばれたものです。

全国大会出品に係る経費の支援を行うための予算を本定例会に提案しています。よろしくご審議のほどお願いいたします。

◇仙北市民プレミアム商品券について

新型コロナウイルス感染症の影響により、低迷する消費の喚起や市民生活の支援を行うために発行した仙北市民プレミアム商品券について、7月15日に購入申込を締切り、8月1日から引換を開始しています。8月26日現在の状況は、発行冊数2万冊に対し購入引換冊数1万9千397冊、券面額2億5,216万1千円分、購入引換率96.98%となっています。

◇仙北市原油価格高騰緊急経済対策補助金について

新型コロナウイルス感染症の影響で売上が減少し、さらに原油価格の高騰による経済負担が増加した事業者の事業継続支援を行う、仙北市原油価格高騰緊急経済対策補助金は、8月1日から申請書受付を開始しています。8月26日現在の申請件数は、76件、うち交付決定件数48件、補助金振込額456万3千円となっています。

申請期限が9月30日までとなっていますので、引き続き事業者への周知に努めます。

【建設部】

◇国道46号「地域高規格道路」盛岡秋田道路整備促進期成同盟会要望活動について

国道46号「地域高規格道路」盛岡秋田道路整備促進期成同盟会要望活動について、「生保内～卒田間」の早期計画策定の特出要望を7月28日に地元選出国會議員へ、29日に国土交通省及び財務省へ行いました。

国土交通省の丹羽克彦^{にわかっひこ}道路局長から、「東北の道路は横軸が弱いのでしっかり支援していきたい」と回答をいただきました。

今後の当同盟会と地域高規格道路大曲・鷹巣道路整備促進期成同盟会の活動として、フォーラム開催や秋季要望活動を予定していますので、議員の皆様からも特段のご協力をよろしくお願いいたします。

【医療局】

◇新型コロナウイルス感染症対応について

県では8月11日から、感染が疑われる症状の出た基礎疾患のない64歳以下の県民を対象に、「秋田県検査キット配布・陽性者登録センター」を設置し、陽性者を判定する事業を実施しています。医療機関の負担軽減も期待されるため、ご活用をお願いします。

8月26日現在の検査件数について、田沢湖病院は前年度より184件の増加の206件、角館総合病院は前年度より962件の増加の2千491件となっていて、両病院の発熱外来がこれまで以上に逼迫してい

る状況です。発熱等風邪症状があるときは必ず事前に電話で、かかりつけ医へ、ない場合は両病院の発熱外来等へご相談されるようお願いいたします。

【農業委員会】

◇農地パトロールの実施について

8月10日から本日まで遊休農地の実態把握と発生防止・解消を目的とした農地パトロールを実施しています。パトロールには、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局職員が参加し、市内18地区に分け、農地が良好に管理されているかなどを調査しています。

調査結果を基に遊休化しつつある農地については、土地所有者に改善への取組を促すこととしています。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本定例会に提案している案件は、報告関係1件、条例関係3件、予算関係5件、決算認定関係12件、その他1件、人事関係1件、諮問関係3件の計26件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。